

最終評価（開業４年間）の附帯意見

最終評価（開業４年間）を踏まえて、運営協議会が新バスシステム事業の改善に向けた取り組みを進めることに際し、以下の意見を附す。

《システムについて》

- 乗り換え抵抗の要因を分析し、低減に向けて的確な取り組みや改善を進めること。
- さらなる改善に向け、利用者の意見を聞くことができる目安箱等を有効に活用しながら取り組むこと。
- ＢＲＴ車両のシンボル性向上など、ＢＲＴ路線が利用者にとって分かりやすく、基幹バス路線として認知されるよう取り組むこと。

《市民理解・利用促進について》

- 市民から理解してもらえよう、事業の必要性や効果等のＰＲ活動や啓発活動に取り組むこと。
- 路線や便数の設定には、利用状況が大きく関与していることを市民に示していくこと。
- ダイレクト便を含めた路線や便数の設定・存続については、利用状況が大きく関与することから、あらかじめ具体的な基準や目安を示し、市民理解や利用促進につなげていくこと。

《運行について》

- 乗務員不足という全国的な課題など、絶えず現状を把握し、これらを踏まえ、さらなるサービスの維持・拡充に向けた改善に取り組むこと。
- 効率的な運行に向け、細かな利用者の行動分析が可能となるビッグデータを活用しながら取り組むこと。
- 人口減少などの社会情勢や利用目的の変化を踏まえながら、路線の確保に取り組むこと。

《交通施策について》

- 駅前広場への路線バスの乗り入れによる鉄道との接続性向上など、他の交通手段との連携をさらに強化していくこと。
- 地域の生活交通施策や公共交通不便地域の意見にも配慮すること。

●：速やかな改善を要する事項